たつくす

10 号

”86.8.



新宿間税協力会

着任の御挨拶



淀橋税務署長
幸　福　啓　次

新宿間税協力会の皆様方には、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

私は、この度の定期異動により東村山税務署長から、伊藤前署長の後任として当署に参りました幸福でございます。

近い将来、新都心となる当署で仕事をさせて頂くことは大変名誉なことと存じます。

私は二十有余年前　当署（間税課）に勤務していたことがあり大変懐しく思います反面、往時とは一変した西新宿を目の当たりにして、変遷の激しさに身の引き締まる思いでございます。

さて、昨今の我が国の財政は依然として巨額な国債に依存する状況にあり、行財政改革は国民的な緊急の課題となっております。

税に対する国民の関心は一段と高く、制度執行の両面にわたる税負担の公平が強く要請されているところであります。

私どもの仕事は、税務を適正、円滑に執行し、課税の公平と租税収入確保を図り、信頼される税務行政を確立していくことにあるのですが、何と申しましても、納税者の皆様方の自発的な御理解と御協力なしには、納税秩序を維持することはむづかしいのであります。

幸いにも、新宿間税協力会は、役員の方々をはじめ会員皆様方の長期にわたる御努力と活発な会活動により、納税道義の高揚に顕著な成果を挙げられていることは、大変心強い限りでございます。

どうか今後とも従来にも増して御支援・御協力をお願い申し上げます。

終りに、新宿間税協力会の益々の御発展と会員皆様の御繁栄、御健勝を祈念して着任の御挨拶とさせていただきます。

お別れの御挨拶



前　淀橋税務署長
伊　藤　稔　博

暑さなお厳しい折から、会員の皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと、この度の定期異動をもちまして永年に亘った税務の職場から退かせていただくことになりました。

昨年７月、淀橋税務署長に着任して以来、この１年間にお寄せいただいた会員各位の御厚情に対しまして、心から御礼申し上げます。

顧りみますと、東京の新都心として発展を続ける新宿地区を管轄する当署へ、藤沢税務署長から身の引締る思い出で着任したことがつい昨日のように憶い起されます。

この間、行政改革の推進、財政再建並びに対外貿易摩擦、円高問題等、緊急の課題として論議され、また、税制面においても、直間比率の見直しによる税制改革等の論議が活発になされ、物品税を始めとする間接税の今後の展開に対し、多くの関心が寄せられており、税務行政をめぐる環境も厳しいものがありましたが、会員の皆様と各協力団体の絶大な御協力、御支援により円滑な税務運営ができましたことについて、厚く御礼申し上げます。

新宿間税協力会におかれましては、田尾新会長のもと一致協力して、「宝石の無料鑑別会」をはじめとする恒例の各行事をつつがなく遂行されたほか、各種の税務広報活動にも御協力をいただき、また、定期総会においては会名称の変更を決定され、今後の一層の発展を期されていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

終わりに、新宿間税協力会の益々の発展と会員各位の御繁栄、御健勝を祈念申し上げまして、私の御挨拶といたします。

新任幸福署長さんを迎えて



新宿間税協力会
会　長
田　尾　有　一

残署なおきびしい中、会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度ご当局の定期異動で、前伊東署長さんが退官され、新たに幸福署長さんをお迎えすることになりました。

顧みますと、短い１年間でありましたが、前奥住会長のご逝去、新宿物品税協力会より、更に、組織拡充を図るべく、新宿間税協力会に名称変更等々、いろいろむずかしい局面の中で、一方ならぬご支援、ご協力を賜わりました前伊東署長さんはじめ幹部の方々に対しまして深く感謝する次第でございます。

また、前伊東署長さんにおかれましては、今後のますますのご活躍をご期待申し上げます。

昨今の円高基調による経済の深刻化、加えるに、第三次中曽根内閣の誕生で、私たちの関心事であります新税の検討がなされている中で、当会の運営にあたりましては、新任の幸福署長さんはじめ、ご当局幹部の方々の、倍旧のご理解、ご協力をいたゞきまして円滑な運営を図る所存でございます。何卒、ご鞭達の程、重ねてお願い申し上げる次第でございます。

残暑厳しい折、会員皆様方、並びにご当局幹部の皆様方のご健勝をお祈り申し上げましてごあいさつといたします。



昭和60年度定期総会
会名称変更決定！

物品税⇨間税

昭和60年度、定期総会が、５月21日㈫午後４時30分から、「小田急豪華」会議室において、淀橋税務署から伊藤署長はじめ幹部の方々８名をお迎えし、役員並びに会員33名が出席して盛大に開催されました。

議事については、例年通り、昭和60年度の事業・決算・監査報告並びに昭和61年度の事業計画㈱・予算㈱等について慎重審議し、満場一致で可決された。

特に今回は、税普及のＰＲ、財政基盤の強化並びに組織の強化を図る目的で印紙税を含めた間税全般の協力会とするため、６号議案で会名称の変更が審議され、原案どおり、「新宿物品税協力会」を「新宿間税協力会」更することとなった。



本年度の事業計画議決される

本年度は、印紙税の会員の増加が予想され、下記の事業目的遂行のため、前年度以上に税務当局並びに上部団体と連絡協調し、申告納税制度の普及と税務行政全般の円滑な運営に寄与するよう努めることとなった。

1. 組織の拡大強化を図る。
2. 未加入者の加入勧奨（印紙税を含む）
3. 研修会、説明会等の開催
4. 宝石の無料鑑別と税普及のＰＲ活動
5. 青年部・婦人部の活動強化（レクリェーション、工場見学等の開催）
6. 会報「たっくす」の発行（年２回）
7. その他、本会の目的を達成するための必要な事業の推進

活 動 日 誌

61. 1. 1　会報「たっくす」第９号発行
61. 1. 17　税務協力８団体共催による、新年賀詞交換会　当会会員20名出席
61. 2. 5　税務連絡懇談会　会長出席
61. 2. 14　正副会長会議　理事会及び定期総会の提案事項の審議
61. 3. 25　理事会、理事25名出席
定期総会運営の件
61. 3. 29　故杉並間税協力会長、近藤磯吉氏告別式　当会より２名参列
61. 4. 2　税務連絡懇談会　事務局長出席
61. 4. 23　編集会議　於 京王百貨店
会報「たっくす」10号発行の件
61. 5. 6　税務連絡懇談会　事務局長出席
61. 5. 21　定期総会　於 小田急豪華(別掲)
61. 5. 26　⑴　第一種物品販売業者証明書更新者に総会資料配布
⑵　未加入者の加入勧奨
61. 6. 6　荻窪間税協力会30周年記念総会
松村常任理事出席
61. 6. 20　税務連絡懇談会　理事３名出席

上部団体の活動

61. 1. 17　全間連賀詞交換会
於 竹橋会館　会員２名出席
61. 1. 21　城西地区連役員会
於 練馬税務署　会員４名出席
61. 4. 11　局間連研修会　於 農協ホール
青年部・婦人部会員10名出席
61. 5. 9　城西地区連役員会
於 練馬税務署　会員４名出席
61. 5. 19　局間連通常総会
於 サンケイ会館　会員３名出席
61. 6. 17　城西地区連定期総会
於 中野サンプラザ　会員15名出席

新入会員の紹介

【第１種部会第２地区】
◇エス・ジー・ゴトー
後藤　秀次郎（843－1771）
新宿区西新宿６－６－２
東京ヒルトンインターナショナル
地下街アーケード　ヒルトピア
【第１種部会第３地区】
◇豊栄商事
吹越　真理子（362－9166）
新宿区百人町３－21－９－203
◇タカハシ　ジェムス
高橋　博　（203－2388）
新宿区大久保２－１－３
プラザ新大樹南棟103
◇アトリエ・ゆう
稲冨　裕子　（207－9464）
新宿区大久保２－２－18
プチモンド新宿801
【第１種部会第４地区】
◇㈱優和商店
佐藤　茂晴（950－2611）
新宿区下落合４－３－26
◇サン・ジェムス
山田　基調（950－2121）
新宿区中落合３－22－７
◇㈲キンバラ
金原　正義　（364－5067）
新宿区上落合１－１－15－903
【第１種部会第５地区】
◇ジュエリー桂
川口　桂　（204－1901）
新宿区西和稲田２－17－19
近鉄ハイツ303号
◇国際情報スクェアー㈱
福井　常正　（899－2800）
新宿区高田馬場４－18－９
【住友ビル部会】
◇㈲ジュエリーライフ
西本　江美　（344－6004）
新宿区西新宿２－６－１
住友ビル50F
【写真光学部会】
◇㈱コニカ　マグネティックス
栗田　善一郎（343－3692）
新宿区西新宿１－26－２
新宿野村ビル
◇キャノン㈱
賀来　龍三郎（348－2121）
新宿区西新宿２－７－１
第一生命ビル
【総合部会】
◇㈱オカダヤ
蛭川　太郎　（352－5411）
新宿区新宿３－23－17　３F
以　上
≪合計 13 社加入≫

署の人事異動　＝61年7月10日付＝

〈着任〉

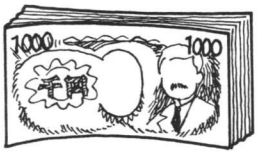
ポスト	氏名	前任
署長	幸福　啓次	東村山署長
副署長（法人）	佐藤　和正	千葉西副署長
副署長（間税）	小野田　俊	庁会計課補佐
総務課長	佐伯　龍夫	戸塚総務課長
間税1統括官	今福　三朗	東村山間税統括
間税2統括官	小山　茂	川崎南統括官
間税総括上席	谷地　志朗	局間調調査官
間税1調査官	岩本　聖二	局間監調査官
間税1調査官	千装　哲也	麹町間税調査官
間税1	大石　公隆	新卒
間税1	川崎　義広	新卒

〈離任〉

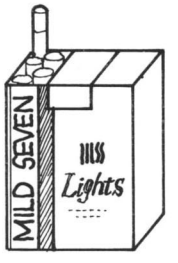
ポスト	氏名	発令先
署長	伊東　稔博	辞職
副署長（間税）	寺田　弘	辞職
副署長（法人）	古屋　勉	局調1特官
総務課長	酒井　肇	局監察官
間税1統括官	宮川　幸雄	局間調総括主査
間税2統括官	細具　邦宏	東村山間税統括
間税総括上席	小林　辰己	甲府間2統括
間税1	小野寺聖光	江東西間税
間税2調査官	長谷川睦雄	江戸川法人官
間税2	小林　忠	京橋間税
間税2	長崎　恒治	麻布間税

青年部・婦人部　研修会

お札とたばこの工場見学



日本たばこ産業㈱
東京工場
（墨田区横川）



大蔵省印刷局
滝野川工場
（北区西ケ原）

と　き　昭和61年10月14日(火)
会　費　4,000円
集　合　新宿西口朝日生命前　午前8時30分
申込先　参加希望者は電話で㈱アリミノ
　　363－8211　経理課　宮武・入山
募集人員　50名（先着順）
乗　物　小田急デラックスバス

実年を美しく、楽しく装うには！

“人はだれでも胎児の時代があった”と言う言葉がありますが。しかし、60才以上の年を快適に過ごせていらっしゃる方は、だれでもではなくごくごく一部の神から祝福された人達のような気がいたします。

婦人部コーナーでは、そんな祝福された方々の為に、生活をたのしく・人間らしい生き方の一つの方法として、こんなことしてみたらと提案しております。

今どこか、たのしくないと思っていらっしゃる方、チョッと一ぷくの時にでも、読んでいただければ……。

前回“たっくす”では、健康でなければ人生は楽しくない、健康な体を維持するには、良く体を動かすこと、お掃除や買物も体にけっこう良いらしいですが、チョットしゃれて、スポーツ始めてみたらと提案いたしました。60才からでも出来る可能なスポーツ、仲間の出来るスポーツ等お始めいただけましたでしょうか？　今までにない自分を発見できましたでしょうか？　肩こりもなおって、体は元気いっぱいになりましたでしょうか？　気持は、若い人といっしょに行動することにより若がえります。年よりどうしより、若い人達と無心に楽しむことが大変大切です。

毎日よい汗流して頭をつかう、体も心もやわらかくなり、快適な、70才80才をむかえる秘決だそうです。今回この頭をつかう、方法を考えてみました。

—おしゃれも健康の秘訣—

おしゃれのすすめです。

毎朝、“何を今日着ようかしら”“この色のブラウスと、このスカートの色で合っているかしら”“今日の午後は買物だけど何を着ようかしら”“美容院に行くけどどんな髪の色にしてもらおうかしら”自然につかっているこの頭の体操、これが大変頭の為によいそうです。精神科の先生で北杜夫さんの弟さんは、母が（あの南極に行らしたり、お名前忘れましたが、雑誌などよく顔を出してらした方）元気で長生きしたのは、毎日おしゃれすることをたのしみにしていたからで、食事の支度を行うことやおしゃれをすることが、頭や気持を若くたもつのによいと言っておられます。宇野千代さんが、先日anan というごく若い方々の雑誌の中で“毎日、何を着ようか、たのしみで……。一日何回も着替える日もあるの”とか“まだまだ着物が沢山あって長生きしなくちゃ”と話されておりました。文筆活動を御元気でなさる彼女は、さして、スポーツをしておられるようには、お見うけできませんが、あれだけお元気なのは、そのおしゃれをしよう、したいと思う気持が、お若くさせていると思います。

—貴女は、おしゃれか？—

ところで“たっくす”をお読みの貴方は？
おしゃれ好きですか？
街に出るのがたのしいと思いますか？
その時、すぐ着がえて出かけますか？
自分に似合うもの知ってますか？
すきな色ありますか？
自分はよいセンスだと思いますか？

全部“はい”と答えていただけると女性として楽しんでこられた方だということです。四つ五つでしたらまだよいのですが、一つも“はい”がない方がいらしたら、この方が問題です。又、洋服を着るのはあたりまえ、なぜ問題にするのかわからないと言われる方、それも淋しいですネ。確かに、私達は、お風呂に入っている時以外は、何かを身に付けています。しかし、考えて下さい。何でも着ればいいのでしょうか？

たとえば、黒猫がいます。彼女が、三毛猫に恋をしたとします。いえ単に暑いからかもしれませんが、いいなァー白い所があってと思っても、彼女は一生、黒猫なのです。地球上の生き物の大半は、神よりあたえられた、形から変ることが出来ません。ゆいつ人間だけが、着るという方法で、自分の力で、変えることができるのです。個性を入れるたのしみを味わえる。人間としてのたしなみが、おしゃれなのです。

20才の女性なら、15～6年、60才の女性なら、もう50年以上、おしゃれを楽しんでいるはずなので、ここで、“はい”とお答え下さった方は、私の先輩、おしゃれについては一言も申し上げられません。今、本当に美しいおばあちゃまを街でみかけます。きっと、そんな方のような気がします。ここでは、今までおしゃれをなさらなかった方、今日から考えてみてもと思う方や、心にゆとりの出た方へ、お話しようと思います。

—なぜ、おしゃれをしないのかしら—

① おしゃれに罪悪感がある。
　たとえば、お金をそんなことへつかえない。
　化粧は、特別の仕事の人がするものだ。
　結婚した女性は、きかざってはいけない。etc
② おしゃれがへたと家族に言われ、何を着てよいかわからない。
③ 今さらこの年で、とか。
④ おなかもでて、ぶかっこうだから。
⑤ 毎日きれいな物を着て、よごすのがいや。
⑥ 方法がわからない。

以上の理由で、おしゃれをしていないと思われる方　　実は心の病気です。

リラックスして生活を生きること、楽しむことが出来ない人・家族や回りの方々を愛していない人・自分の存在が何か気付かない人愛されていることに気付いていない人のような気がします。心の病気だと思って心をなおさないといけませんし、心がリラックスしてはじめて、やさしい、美しい人となれると思うのです。

そこでこう思うのです。

①の罪悪感のある方は、この世代に実は大変多いのです。日本の歴史は、長い間男性中心、家中心でした。ですから、女性は、道具の一部におもわれていました。結婚と言う形で、よりよい所へ嫁がせるため、何もしなくて若く美しいのに化粧をさせたり、結婚すると、子供を産む道具なので、それが終りのように、又は、人に取られないように、おしゃれさせなかったり、そんな歴史か、又、“ほしがりません勝までは”の時代の教育など、男の方の思うままだったのかもしれません。女性は、死ぬまで、女、美しいのがなぜ悪いと真剣に思いましょう！若い時は、何もなくても美しいけど、年とともに肉体は、おとろえますが、教養が身に付くと、いろいろの美しい色や、良い布が、良い仕立がわかりはじめテクニックで、女性らしくすることが出来るようになります。それは大切なことです。



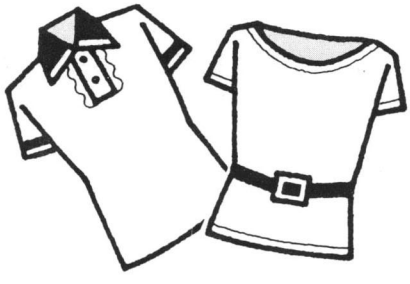
②コンプレックスのかたまりになってしまった貴女は、御主人や子供達からプレゼントをいただく事です。私に何が一番あっている

か、選んでもらいましょう。そして、一度は素直に着て下さい。近所の人に何かを言われるのが心配なら、その時、主人にプレゼントされたのと言って、幸せをみせびらかして下さい。この元気が必要です。

③今さらこの年でとか、と言いますが、

結婚した時以来、主婦は、家庭が職場。朝起きた時から明かるく元気に家族とすごす主役。家族を愛していれば、美しくしているのがあたりまえで、女性は、55才の定年を主婦としては、させてくれないのですから、今さらは有えません。職場に来るＯＬは毎朝お化粧して、電車にゆられて職場へ、きっと同じことだと思えばおしゃれしてあたりまえ、主婦が美しいのは御主人を愛している表現と思います。良い職場は、働く皆の努力からとか言いますでしょ。だから、家族中きれいにしなくては。食器を新しくしたり、季節を家庭内にとり入れる時、主婦の洋服も家具の一つかもしれません。

年相応とか言って美しくない色、地味と言って暗い色の洋服を着てませんか。分相応とか言って、みすぼらしいかっこうで主人の収入がないみたいに、御主人様をいじめていませんか。この言葉で、自分の努力をしないですましている場合が多いのです。



よごれているのをいやがって着ないのもやはり同じことで、おしゃれは、まめでなければいけません。スポーツと同じで、健康でなければおしゃれが出来ないと言うことです。そこで、どう着てよいか、方法がわからないという言葉も、むだづかいという言葉も、なんとなく自分がにげているような感じが、わかってきませんか。しかし、日本では確かに着物社会が長く、ごく最近、結婚式でも洋服の方がふえましたが、まだまだ装行は、着物という方が多いようです。毎日の洋服は、体をかくすだけと思われてもしかたない事もあります。たとえば、洋服に必要な体にあった下着がないとか、くつで歩きなれていないので、くつがはけない。着物のように色を合わせるだけではなく、形もさがさなければならないのでさがせないとか、その意味では、洋服の着方のわからないと思われると思います。

―洋服を着る時のワンポイントアドバイス―

洋服を着るときの大切な事を簡単にアドバイスしてみたいと思います。

今の洋服じたい、男性の洋服からアレンジされたもので、スポーティーなのです。忙がしい現代には適しているため、女性用の洋服では毎日が大変で仕事がしにくく、今の洋服になりました。ですから、いかに女性らしく装うかが大切となります。それには、歩き方、姿勢が洋服を着ても女性らしく、優雅さを残す一番大切な事となります。心も女らしくが大切です。

ファッションショーのモデルの歩き方の必要はありませんが、まず、姿勢を良くして、頭や肩が左右、前後に歩くたびにゆれないように、鏡の前で歩いて下さい。手を軽くふってまっすぐに歩ける。これだけでも充分体の為には良く、何割も美しく見せられます。（ウエストも細く見えますヨ。）

それから、自分の体に合った下着をさがして下さい。我慢の上手な人はこの時失敗しやすいのでお話します。

美しい装いには、やはり、基礎として美しいボディーが必要です。バスト・ウエスト・ヒップ。人体は、曲線をえがかなければいけません。それには、矯正が必要となるのです。それは、十人が十人とも（夢が有ますから）必要と思います。貴女だけではないのです。しかし、夢が高すぎて、無理をしますと、鏡の前で、着てみた時だけのブラジャーになってしまったり、パンティーになります。体や動きに合っていて、ほどほどに矯正出来る下着をさがさなければなりません。それに年

々人は体型が変化しますので、何年も使用出来ること自体がおかしいのですから、毎度選び変えたり、ゆるくなりすぎても、何の意味のない下着を着ていることになり、動きにくくつかれやすくなります。何着も着て、本当に自分に適していたら、着替えとして、何枚か買うようにして下さい。

・オールインワン（ブラジャーとガードルの付いた下着）
・ボディスーツなどが有りますが。

ブラジャーと、パンティーその上に、スリップのような、洋服がすべりやすい下着だけで十分でしょう。あまりかたいガードルで腰をおさえるより、正しい姿勢で、歩く時にお腹に力を入れて歩けば結構出なくなります。無理な下着の必要はありません。冬の場合になりますが、寒い寒いと言って、下着の数を重ねたり、厚手の下着を着るよりも、寒い時は、上着の数を多くすることも、ファッショナブルに見せる方法ですから！冬でも下着はガードル又は、長そでのスリップが多くなるぐらいに考えて下さい。そして矯正したことがわからないように下着を着ることが大切です。

体型が整ったら

上着には

Tシャツ・ブラウス・トレーナー・ジャケット・ジャンバー・セーター

スカートには

プリーツ・ギャザー・タイト

長さでわけて

ミニ・ミディー・ロング・シャネル

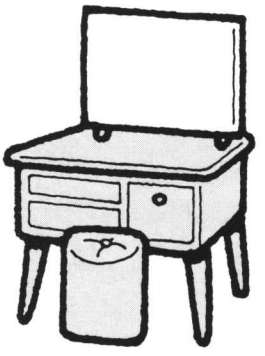
パンツには

スリム・ストレート・ブーツカット・サブリナ・ショート

ワンピース・ジャンバースカート・オーバーコート

があります。その中から、その日の予定、気分などに合わせて、私達は組合わせるのです。そして、出かける時は、バックや靴そしてアクセサリー・帽子、個性や能力に基づいて増えていきます。

今日、お出かけと言うと人は、何か特別な気持で、ましてや、嬉しい娘の結婚と言うと子供の母と言う目的や場所や条件もはっきりしていますし、昔ながらの習慣も有り、簡単



におしゃれできます。無理しても今日一日のことですから、着なれぬ着物でも大丈夫なのですが、それは一生に数度です。大切なのは毎日の何の予定もない日、そんな時こそ、洋服に変化をつけて、家族や自分が楽しむ必要があると思います。

朝起きると、たまにはお掃除が終るまで、スポーツウエアーを着るのも良いと思います。

午後は、誰かが顔を出しても、いつも奇麗と言われるように、外では一寸派手と思われる色の組合わせをした洋服を。そして春とか、夏とか、シーズンを考えて、楽しい色を着てみては。こんな時、スカーフを頭の髪がうるさければ巻いても素敵だと思います。毎日、何か変化をつけて同じ服を着ない気持が大切です。奇麗、若いとか言われはじめると、自分を大切にしたくなりますし、昨日より今日もっと奇麗になろうと思いはじめます。“お母さんきれいネ”と言われてごらんなさい。とっても楽しいですよ。

—楽しくなった方へ—

“あふたぬーん”という雑誌を創刊いたしました。60才以上のファッションアドバイスと健康アドバイスの本です。この先を知りたい方へ先着50名様にプレゼントいたします。

葉書で、「あふたぬーん」希望と書いて申し込み下さい。希望締切　9月30日まで

〒163 新宿区西新宿2－6－1
住友ビルB1 私書箱113号
株式会社 光　藝



南多摩郡新宿村の時計屋さん

千野時計店
千　野　通　明

今回は、当協力会の副会長をはじめ、青色申告会、法人会、時計組合等の役員を永年に亘って務めておられる、千野時計店の千野通明氏をお訪ねいたしました。

Q　東京では「時計の千野」という店名を、古くから、いたる所で耳にしますが。

A　池袋、渋谷などで「千野」とつく店は、父が千野の本家ということもあり、おじであったり、家で修業して独立した者達です。

私は、千野時計店の三代目で、父が町の時計屋で修業し、明治38年に現在の場所が国道沿いで、当時は中野方面には同業者がなく、そのうえ、「おばけ」が出るという理由で家賃がただだったため、この家を借り独立して時計屋を始めたそうですよ！建物は２階建で地下が倉庫でした。

当時の店の写真がありますが、柱時計や懐中時計のほかに蓄音機や家具、建具も商っていたようです。

その後、戦災にあい、戦後時計屋らしい店になり時計を中心に商いはじめました。

Q　まるで淀橋の歴史のようですネ、

A　そうでしょう、この辺は農家がほとんどで、南多摩郡新宿村字柏木77番地が現在の店の住所なんです。当時は字ですよ。

私は小学校は、となりの淀３を出ました。息子も孫も同じです。以前は、この辺もトンボが採れましてネ、現在のように駅の廻りが繁華でなく、地名に坂とつく所が栄えましてネ、この成子坂も露店が出て、なかなか楽しかったものです。その頃、そう昭和の初めですネ、この辺も繁盛してました。

売る時計が配給の時代で、輸入時計がなかなか手に入らなかった時代でしたが、私は、戦地にスイス製の時計を持って行きました。戦後は、ヤミ時計とか、いろいろやりました。

Q　お父様が始められて、三代目ということがよくわかりませんが、

A　昔は、総領しか跡を継げない時代がありましたので、私は、長男の養子に入って、父→長男→三男の私で三代目となりました。四代目は息子になりますが、息子は時計よりメガネに力を入れているようです。

時計がオモチャのようになってしまったし、近くに安売店が沢山出来て、安売店と同じ価格で売るともうかりません。その点メガネは一度御来店のお客様は、御得意様になっていただけます。

Q　時計屋を継いだのは、特に時計が好きだったからですか。

A　いやべつに、ただ、17才の頃から錦糸町の時計屋に修業に行っている間に時計に親しみがわき、戦争から帰ってきたら、時計店になっていたからです。

今でも、この業界には、地方の時計屋の息子を御預りして学校に行かせたり、修業させる習慣が残っております。私の店でも今、一人預っています。相手も大変だけどそうすると、自然に跡を継ぐようになってしまう感じです。

Q　昔の話を楽しくお聞かせいただきました。ところで、お話を伺っていると、お年がわからなくなりました。何か趣味はお持ちですか。

A　私は、大正10年４月24日生れです。趣味は、ゴルフですね。（トロフィーが一ぱい）

Q　ワーびっくり、若いですネとは、失礼な言い方になりそう。

協力会や協力会の若い人にこれから望むことは。

A　よその会より若い方が多くて大変いいと思いますが、会費が少なくて何も出来ないところがありますね。

お忙しい方に、やっと時間をいただき、お会いしてまいりました。高層ビルをながめながら、昔の成子坂の話を楽しく聞かせていただきました。誌上では、ほんの一部しかお知らせできませんが、会でお会いした時に話を聞かせていただいたらいかがですか。

ちょっと、新宿通になるかも！

天皇在位記念金貨に対する物品税の取扱い



昭和61年４月25日、参議院本会議において「天皇陛下御在位60年記念のための10万円及び１万円の臨時補助貨幣の発行に関する法律」が可決成立しました。

これを受けて大蔵省においても、この御慶事を記念するため、金の量目20グラムの「10万円の金貨幣」1,000万枚、銀の量目20グラムの「１万円の銀貨幣」1,000万枚を発行することとしています。なお、この記念貨幣の品位、形式は政令で定めることとしています。

ところでこの記念貨幣に対する物品税の取り扱いは、次のようになるものと思われます。（「１万円の銀貨幣」については、銀の含有率が1,000分の 925 以上になった場合のみ）

まず、物品税法では第一種の課税物品の１つとして、「貴金属製品」のうち「メダルその他これに類する収集品」を掲名しています。ここにいう「メダルその他これに類する収集品」とは、物品税法基本通達において、具体的には「その形状のいかんを問わず一般に収集の対象となる物品をいい、記念メダルその他のメダル類のほか、大判、小判その他の貨幣類及びその模造品、模様を付した板金並びに印材又は分銅状等に形作ったもの等と規定されています。

そこで、今回発行されることとなった記念貨幣に係る物品税の取り扱いについてみると、

1. 当初、政府から発行されるときには、金融機関において額面金額（10万円又は１万円）で消費者に引き換えられるものですから、これは通貨の発行そのものであり、この行為は物品税法上の小売業者の小売行為に該当せず、物品税法上の問題は生じません。
2. 記念貨幣が発行された後、貴金属店やコイン店等で販売される場合には、課税物品である貴金属製の「メダルその他これに類する収集品」を小売したことになり、販売価格が37,500円を超える場合には物品税が課税されることとなります。

これは、記念貨幣が通貨としてではなく収集品として販売されるものと認められるからです。つまり、現在、収集品として課税対象とされているカナダのメイプルリーフ金貨、中国のゴールドパンダ金貨、南アフリカ共和国のクルーガーランド金貨等と同様のものと認められるからです。

私の油彩画　（次ページから続く）

それからまた勇気を出して描き続けてゆきます。

このようなことを繰返して２・３時間も経ちますと「絵」らしきものが出来てまいります。

花リンゴ妙高は未だ雪かづき

山頂の角張った妙高は、黒姫や戸隠を従えるように聳え、大信州を象徴する山です。

毎年、ここを訪れますと大概その雄姿が現れておりますので、妙高を先ず遠景に入れることが多くなります。

すぐ近くには、一面に拡がるリンゴの花からやわらかい風が甘酸っぱい香を運び、楽しく絵を描く条件を援助してくれます。

画架立てて町へ昼餉に山ざくら

遅咲きの桜が農家の庭を彩っています。低い田圃には田植の準備も終り、張ってある水がやや濁っていて、蛙が顔を出しているのもまた一興というものです。

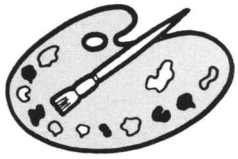
そうこうして一日に２枚ほど描き上げ、信州ならではの温泉宿にわらじを解きます。

気さくで、親切な旅籠風の宿は私達10人程の泊り客で領してしまいます。

たっぷり温泉につかって、一日の疲れをほぐし、地酒を酌み交す夕べは、写生に来た醍醐味を２倍も３倍も楽しいものにし、明日への英気を養ってくれます。

私の油彩画

北信濃写生記



株式会社　三　粧
佐　藤　昌　教



12•3kg位はあろうと思われる絵具箱や用具を提げて細い道を登り、畠の畦を崩さないように、あらかじめ選定した場所へ着き、キャンパスを対象的に向ってやや斜めに立てて仕度を整えます。

一服つけてこれから色をつけてゆく風景に大きく深呼吸するときは、初陣の若武者にも似た躍動感が漲ってまいります。

自然ほど美しいモチーフはないと云いますが全くその通りです。

絵の仲間と誘い合って、年に１～２回この北信濃の広大な景色の中に埋れてしまいます。

大地は匂い、草木はそよぎ、鳥は囀り、せゝらぐ川音も聞えて、四囲は大自然に取り巻かれ、全くこの世の浄土です。

勿論、空気のうまさも格別で、運ぶ絵筆も自らリズミカルになります。

画面構成の中に入る山には、五月といえど雪を冠っており、山と裾野の中景には淡い雲が棚引き、すぐ近くの前景には、林檎の太い幹からゴツゴツした枝が延び、若芽をあしらって白い花が豪勢に咲き誇っています。

……というところを画き進めてゆくのですが、悲しいかな未熟者の筆はそう易々と動いてはくれません。



最初の心意気はだんだん萎み、果敢であるべきタッチは鈍り、色は混り合い、あまつさえ先程まで浮んでいた雲はなくなってしまい、山はガスに隠れ、風が出て画架は揺ぎ、もういろいろな悪条件が重なって、不安と心細さが募って来ます。

青息三斗のこのような状況を救う手段がなかったら、お手上げもいいところです。

そこはうまくしたもので、グループを統率し指導して頂いている先生が、ご自分でも写生しながら、気儘にわらびなど摘んで、私達の絵にも眼をとおしに来られます。

「構図が一寸怪しいですね。これは右へ寄せた方がいい。」

「空を見てご覧なさい。雲は白いとか黒いものではありません。よく見るといろいろな色があります。」

と云って、折角描いているキャンパスに情け容赦なく強烈な筆づかいで塗りたくってゆくのです。

心中おだやかではないのですが、一寸、先生が筆を加えますとアラ不思議や、絵が引き締って生き返ってくるのです。

プロの偉大さをいやと云うほど見せつけられて驚嘆することがあります。

もう一つの救う手だては、自分で「遊ぶ」ことです。

到着以来こころ張りつめていたものを、フッと息抜きするのです。

歌でも歌うのです。

岩魚の走る川でも覗いてみるのです。

所謂気分転換です。絵から離れて自分を自然の中へ放り出すのです。暫く自然の中に遊んで絵の前に立って見ますと、自分ながらの佳し悪しが今までの過程から見つけ出せるのですから面白いものです。**（前ページへ続く）**